

# お元気ですか 三菱樹脂OB会だより第二十二号

## OB会総会報告

平成二十二年六月四日(金)  
長浜工場商品開発研究所会議室

総会 出席者百四名  
司会進行 岩田常任幹事

### 一、鳥居会長挨拶



従来、総会は五月に開催してきましたが、三菱化学のOB会の日程との重複を避けるため、今年から六月の第一金曜日に変更しました。本日の総会は、長浜工場での開催ですが、懇親会は新装なった大志館で行います。さて、三菱樹脂OB会は、平成二年十月一日に、会員一八三名で発足し、平成十二年五月二十六日が十年目で四五三名となり、その折に「OB会ホームペー」が披露されました。今総会は、二十年目の記念の総会となります。先日、幹事会で相談した結果、この機会に、過去二十年の資料をまとめて保存すべく、これから作業部会で取り組むことといたしました。

さて、OB会の一般会計は、毎年、約四〇万円の赤字を続けていますので、総会はじめ各種行事の案内をメール主体に切り替えましたが、それでも足りず、第二基金百万円を取り崩し、一般会計に組み込みました。今後も、通信費の節減を図るため、メール主体で案内申し上げますので、皆様にはご理解、ご協力をお願いいたします。

ところで、OB会の皆様は、さまざまな活動で楽しんでおられることと思いますが、本日紹介したいのは、四月に出版された白崎勝様の「たかとりが明かす日本建国」です。白崎さんは、クーリングダウンの研究開発で活躍されていましたが、その傍ら、日本列島の山々を綿密に現地調査し、書物にまとめられたことに敬意を表します。

後刻、役員改選の案件でお待ちしておりますが、常任幹事の加藤進様と岩田幸三様が退任されることとなりました。両氏は、平成十四年五月より八年にわたり、OB会の発展にご尽力願ひ、ここに感謝申し上げます。なお、後任には、山本猛様をお願いしたいと思ひます。また、新任の幹事に山谷章浩様を推薦しましたので、よろしくお願ひします。結びに、本総会に当たり、三菱樹脂ならびに関係会社各位より

ご祝儀を頂戴したことをご報告し、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

### 二、会務報告 岩田常任幹事

(1)物故会員報告。昨年度は十二名の物故者がおられ、その御霊に全員で黙祷し、ご冥福をお祈りした。

(2)傘寿祝い贈呈報告。二十一名の方にお祝いを贈呈した。

(3)会員現勢報告。平成二十二年三月末現在会員総数は、昨年比で二十二名増の六七九名、内新入会員三十四名。

(4)平成二十一年度OB会決算報告。平成二十一年度定期総会収支決算報告。OB会基金決算および予算報告。平成二十二年OB会予算説明。

(5)谷口会計監事から監査報告。



(6)役員改選の件。山口滋大阪支部長が退任され、代わって熊倉寛氏が就任。加藤進および岩田幸三両常任幹事が退任、代わって山本猛幹事が常任幹事に就任。山谷章浩氏が幹事に就任。

(7)前記の決算、予算、役員改選の諸議案について出席者全員異議無く承認を得た。

### 三、山東工場見学

総会開催に先立って、五十八名が参加して、山東工場見学会が行われた。長浜からバスで移動、小林工場長および藤原総務部長から、工場概況・PETフィルム事業の説明を受けた後、工場幹部の案内で、四D工場の内部を見学、さらに、バスで移動しながら五、七D工場、コーティング工場などを見学した。

### 四、三菱樹脂経営状況説明

総会終了後、小林長浜工場長から、新三菱樹脂社の、平成二十二年三月期の経営状況について、詳細な説明があった。

### 懇親会(大志館)

出席者百十二名  
司会進行 森川長浜支部長  
開会挨拶 鳥居会長

### 吉田 宏社長ご挨拶



昨年五月、平塚でのOB総会

の際、来年は、長浜に新研修センターができますので、ぜひどうぞと申し上げました。お約束どおり今回、ここ長浜「大志館」で、OB総会の懇親会が開催でき、非常にうれしく思います。

さて、世間情勢は、なかなか予断を許さない状況で、一昨年四月、新生三菱樹脂が発足した時に比べて、ただ今は、ざっくり言って、八割か九割の間のレベルにあるという状況です。

本日、山東工場を見学いただいた方もおられると思いますが、ポリエステルフィルム事業のフラットパネルディスプレイは、韓台中で飛ぶように売れ、在庫がほとんどないという状況です。まさにV字型回復して頑張ってもらっているところで、一方では、三年半くらい前から、ライフレイン、公共投資関連など非常に苦しい事業もあり、そういった分野を、昨年で降、ダウンサイジングしたり、合理化したりで、残念ながら、この長浜でも発祥の事業である管材の事業を一部たたんで、ということもやらざるを得ない。従業員の方、関係会社の皆さんにも

ご苦労をお願いしながらも、企業存続のため、みんなで力を合わせてやっている最中です。一昨年度はやむなく赤字でしたが、昨年度は、かろうじて黒字を確保できました。でも、やっとな大きな波が来ると、また息がでなくなるという、決して安心できない状況です。そういう状況の中で、削るものは削り、サイズを下げるものは下げると

いうことをやってきたわけです。そうはいっても、ここで企業を終わるわけではなく、一〇年先、二〇年先のことも考えて、前向きな施策についても、いろいろな取組みもやっております。その一つが、この「大志館」の建設。その他、長浜、筑波、直江津での新規事業、大型投資（詳細説明あり）など、さらに、スロバキアで射出成型工場を建設など、将来のために何とかやっていこうということと頑張っています。その他、この七月からは、「三菱樹脂販売」という販売新会社を発足させ、市場に近い商品群について、より顧客に近い、ニーズに即する、地域密着型の販売をやっていこうという体制見直しの動きを進めているところではあります。

そのようないろいろの手を打ちながら、本年度は、三桁台の億円の営業利益の確保を目指すという方針で、役員も含めて、より緊張感を持ってやっていこうと考えています。ぜひ、皆様方にも応援をしていただきたくお願い申し上げます。

さらに、日本ポリペンの親会社であるエンブラ最大手のクオドランドの戦略的子会社化、三菱レイヨンの三菱ケミカルホールディンググループへの参加等の説明もあり、グループ内の事業領域の拡大に伴い、今まで以上にコラボレーションが図れば良いなと思っています。

### 乾杯・懇談

高橋義衛氏のご発声で乾杯、懇談に移った。



**中締**  
参加者第二長老の小林一好氏のご発声により、一本締めでお願いとなった。

### 総会 & or懇親会出席者

(百十八名)

(会社) 吉田宏社長、中西英二常務、小林貞人長浜兼山東工場長、高田裕治浅井工場長、渡辺晴一長浜工場総務部長  
(本部) 鳥居正義会長、高橋義衛顧問、宮部義一顧問、菅澤武彦顧問、神尾章顧問、井伊國裕、岩田幸三、小花秀一、鹿島静哉、加藤進、神田隆、坂本堅一、佐藤勇、佐藤昌二、佐藤洋介、下瀬英樹、谷口勝利、柘植茂、中川芳高、原口尚武、平松久、松井武久、松内俊夫、宮下和久、森邦彦、森本登、柳沢寿、山本猛、山谷章浩  
(長浜) 磯田智、岩井文雄、岩田正博、岩田由春、氏原建二、大竹欣祐、大辻一紘、大村元孝、尾本光弘、垣見源一、梶間加弘、梶道信、片岡幹亘、金田良吉、

### 第十回OB会作品展

神奈川県民ホール第一展示室  
平成二十二年二月二二〜二八日  
出展者二十七名 相川武夫、奥宗治、加藤進、金井ヒロ子、下瀬英樹、日高晃一、平松久、前田幸子、松本弘、南野彰宏、宮武正浩、青山新太郎、久保秀雄、鶴岡英雄、永松啓至、橋本志眞彦、廣江昭道、柳澤知男、山崎勲、山崎公子、吉井道郎、石丸孝、岩井文雄、福原茂、福原良

一、溝口厚雄、武藤幹男  
本年度は一〇回目の記念すべき作品展であり、出展者および作品の増加を期待したが、絵画部門は出展者一名、作品二九点、写真部門は出展者一五名、作品三六点で、全体でほぼ前回並みの作品数六五点を確保するにとどまった。しかし絵画部門および写真部門ともに出展の常連が減り、他の地区の応援出展により作品数を確保し、両部門ともに多くの力作を出展されて、盛況裡に作品展は終了した。  
今回はじめて応援出展された「フォトクラブびわこ」の出展者(石丸さん、岩井さん、福原良一さん、福原茂さん、溝口さん、武藤さん)の作品は、琵琶



湖周辺展示会において相応な評価を受けた力作ばかりである。  
今回は展示期間が七日間と長く、来場者の増加を期待したが、天候不順で、途中伸び悩んだ。それでも最終的に来場者数は六〇〇人を超え、皆ほっと一安心。(以下、文責はすべて宮下和久)

### 歩こう会

本部第六十八回歩こう会  
二〇〇九年報道写真展見学と  
第一〇回OB会作品展観賞

平成二十二年二月二五日(木)参加者二十四名 井伊國裕、伊藤敬輔、岩田幸三、風間元臣、鹿島静哉、木原仁博、小島和久、坂本堅一、佐藤昌二、高橋義衛、谷口勝利、柘植茂、豊田安鴻、鳥居正義、中川実信、花田正一郎、原口尚武、原田浩次、松内俊夫、宮下和久、宮武正浩、山上章三郎、山谷章浩、吉井靖  
関内駅より約十五分、会場  
の日本新聞博物館に着き、まず、二階の企画展示室で『二〇〇九年報道写真展』を見学。続いて、常設展示室で、江戸末期から現代までの新聞の歴史を解説した複製史料、復元模型など、さらに現在の新聞社の各分野の活動内容資料等を見学した。



平成二十二年五月二十八日(金) 参加者二十名 足立英治、磯田智、大村元孝、梶道信、金澤淳三、川上由明、北村征美、木下勝康、後藤健二、佐伯清忠、坂上聡、佐藤正敏、鈴木健治、外海金太郎、西川多気夫、富岡秀雄、馬場智章、橋本泰典、森川栄壽、世森幹治

集合は、近江鉄道多賀大社前駅九時十五分。多賀町ボランティアガイド協会の田畑さんの案内で出発。名神高速沿いの道から多賀SA近くの抜け道を通り、第一目的地の胡宮神社の境内にここは東大寺と縁の深い敏満寺の荘園地帯を見下ろす高台に位置し、背後に青龍山(三三三m)、磐座(いわくら)巨石信仰)があり、敏満寺の守護の神として、原始信仰の痕跡を持つ神社。戦

**長浜支部第二十回歩こう会  
多賀三社と新緑の犬上川溪谷の散歩**

予定の経路を一部変更して、OB会作品展の会場は、例年通りの神奈川県民ホールだが、象の鼻地区(横浜開港時の波止場史跡)を見ることにし、そこで集合写真を撮った後、会場へ。今回は、第一〇回記念とのこと、例年の出展者に加え、長浜支部『フォトクラブびわこ』のメンバーの特別展示もあり、絵画、写真の盛大な作品展でした。懇親会は、中華街、順海閣本館で開催。広東料理と飲み放題のお酒での歓談も大変盛り上がり、約二時間があつという間に過ぎ、午後六時三〇分終了。



国時代、浅井長政・織田信長の兵火により焼失、徳川家光による造営で復興を遂げ、さらに名神高速の建設工事に伴う用地買収のときに、現在の社屋が造られたとのこと。庭園は、文部省指定の名勝庭園。

稲田の風景を楽しみながら犬上川ほとりに。檜崎古墳、高源寺で小休止をしながら、大蛇の淵の横に建つ第二目的地大滝神社に到着。ここは、多賀大社の奥の院「滝の宮」と呼ばれ水を司る神として崇拝されている。また、境内には稲依別王命が狩の途中、大蛇に狙われ、犬に助けられた伝承を持つ犬上神社、犬胴松がある。大蛇の淵は滝口まで近づくことができ、ちよつとした景観。ここで昼食。

西琳寺で住職の法話を聴き、青龍山の東の峠越え、SL(D51)公園で小休止、第三目的地多賀大社(国社)を参拝。伊邪那岐命、伊邪那美命を御祭神とする縁結びの神社として、また、湖北地方の初詣の神社として

**大阪支部第三十八回樹楽会  
信貴山**

て親しまれている。延命の逸話など聞きながら、奥書院庭園を拝観、さらに真如寺、延命地藏を辿り出発地点へ戻る。

平成二十二年五月二十八日(金) 参加者十四名 岡本益弘、奥田公具、押切繁、加藤龍雄、熊倉寛、中村利之、平井穰、福井久、松尾善三郎、松野敏、松本夫人、南博子、吉田正之、吉田康子

十時「鶴橋」集合、近鉄河内山本で一人合流、ケーブルカー、バスを乗り継ぎ、後は徒歩で門前町を通り抜け、信貴山朝護孫子寺境内十一時到着。早速、世界最大の張子の寅がお出迎え。阪神タイガースの必勝を祈願しながら記念撮影。信貴山は、法隆寺の裏山に当たり、聖徳太子がこの山で物部守屋討伐を祈願し討伐に成功したこと、信貴山と名づけられた。後に、後醍醐天皇が病魔退散を願い成就されたことから、号を賜ったのが「朝護孫子寺」。本殿からの眺望は、奈良盆地が一望できる。一旦、境内から離れ、とつくり池のほとりで、昼食。

さてハイキングだ。山頂の「空鉢堂」を越えて、反対側からケーブル駅に戻ろうと計画。ところが、途中で標識が無く、また進入禁止の掲示があり、結局、来た道を引き返すことで、下山した。十三名が「鶴橋」に戻り、お好み焼き店「風月」で、早めの祝杯をあげたのであった。

**ゴルフ同好会**



**本都地区第三十三回ゴルフ会**

平成二十二年五月十三日(木) 湘南カントリークラブ  
参加者十一名 飯箸弘、神尾章、菅野康平、久保秀雄、篠島秀明、菅澤武彦、中野雅明、長嶺英則、西野盛雄、平盛秀正、森邦彦



当日は、富士山がクッキリと見える快晴の下、皆楽しくラウンドできた。優勝は、OBなりたてのホヤホヤ菅野康平さん、グロス九一、ネット七一で、二位長嶺英則さんをネット八打差でぶつちぎり、やはり、若さにはかなわない? もっとも、三位は、参加者最高齢の菅澤さんが入賞、古狸も少しは抵抗!

**長浜支部第三十四回ゴルフ会**

平成二十二年五月十四日(金) 彦根カントリー倶楽部  
参加者二十五名 磯田智、氏原建士、加藤勲、川上由明、岸本一郎、後藤健二、小林一好、笹原榮之助、佐藤正敏、柴田清廣、柴田弥蔵、鈴木健治、橋敏則、田中辰雄、辻彦太郎、富岡秀雄、西沢芳朗、野田和久、馬場智章、伏木長昭、藤田稔、宮沢利典、村上左門、森川栄壽、山田孝夫



昨年度春・秋二回とも雨のため中止となったゴルフ会。当日も晴天とはいえ風も強く、皆さん

スコアメイクに苦しんだ。その中で”さすがベテラン”笹原榮之助さんが、ダブルペリアの競技とはいえ、優勝とベストグロスを手中に収めた。優勝は笹原榮之助さん、準優勝は伏木長昭さん、三位は富岡秀雄さん。プレイ終了後、表彰式と懇親会を「大志館」汲月で。いろいろ話は尽きない中、いつまでも元気でゴルフが続けられることを念じ、中締めとし、散会した。

**大阪支部第十七回ゴルフ会**

平成二十二年五月十七日(月)  
 大宝塚ゴルフクラブ  
 参加者十三名 雨森作仁、岩田博、宇塚正、岡本益弘、押切繁、小森喜成、平井穰、平野和彦、松野敏、松本弘、南野彰弘、山本功、吉田康子



絶好のゴルフ日和となり、美しい新緑のもと、みんな腕を撫してコースに臨んだ。アップダウンが激しく、バンカーだらけで二段・三段グリーンの難コースに悩まされ、全員悪戦苦闘。これもパーティーの楽しい話題と

なり、会話が弾んだ。優勝は松本弘さん、二位は吉田康子さん、三位は宇塚正さん。

**千葉オーブン第十一回ゴルフ会**

平成二十二年四月十六日(金)  
 小御門カントリークラブ  
 参加者九名 春日部嘉三、北川忠澄、長崎光男、長嶺英則、原田昌、牧原稔、森邦彦、安田久雄、渡辺俊彦

当日は、朝から冷たい雨で、幹事としては中止もと考えたが、最長老の渡辺さん、長老の安田さんがやる気十分、それではハーフだけでもとティーアップ。幸いスタート直後から雨が上がり、結局全員十八ホール完走し、めでたく原田さんが優勝、準優勝は長崎さんでした。



**フォトサークル2000**

**四、五月例会**

平成二十二年四月十六日(金)  
 五月七日(金)  
 東京銀座スポーツフォトサロン  
 参加者九名 青山新太郎、久保秀雄、鶴岡英雄、永松啓至、橋

本志眞彦、廣江昭道、柳澤知男、山崎勲、吉井道郎

四月および五月の例会は、七月五日(月)から十日(土)の六日間、東京銀座二丁目のギャラリー・アートグラフで行う第二回フォトサークル悠遊会作品展の最終準備をメインテーマに行った。二回ともメンバー九名全員が出席し、展示作品の最終選考、題名と展示方法の検討ならびに案内状の作成を行った。

今回、特筆すべき点は、長浜のフォトクラブ「びわこ」の五名の皆さんも参加されること。十四名で三十六点の作品内容もバラエティに富み、前回に優る内容になったと考えている。



**OB会事務局から**

**▽会員数** (六月十五日現在)

全会員数 六八一名 本部三八七名 長浜一九三名 大阪四〇名 名古屋二七名 九州三四名  
**▽訃報**  
 小林正威殿 平成二十二年一月二日逝去

夏川 清殿 平成二十二年二月一日逝去  
 合原精一殿 平成二十二年二月十日逝去  
 安藤忠雄殿 平成二十二年二月十六日逝去  
 生田碩男殿 平成二十二年二月二十一日逝去  
 岡山尚志殿 平成二十二年二月二十八日逝去  
 嘉永政行殿 平成二十二年四月二十一日逝去  
 小野博三殿 平成二十二年四月二十四日逝去  
 徳野憲治殿 平成二十二年五月一日逝去  
 石井 實殿 平成二十二年五月七日逝去  
 室屋教盛殿 平成二十二年五月十五日逝去  
 中尾幸男殿 平成二十二年六月七日逝去  
 宮原正衛殿 平成二十二年六月十四日逝去

**▽傘寿祝贈呈**

慎んでお悔やみ申し上げます。  
 土屋倭章殿、外海金太郎殿、中尾幸男殿、野崎紋寿殿、平松久殿、福原清殿、東田昭一郎殿、岩井文雄殿、三田村勇殿、中川正殿、梶道信殿、麻生昌則殿、廣江昭道殿、高山栄司殿、高田宏員殿、永野宏殿、中村利之殿、石井實殿、市川博和殿、笹原榮之助殿、塩澤敏行殿

**▽役員改選**

加藤 進氏 常任幹事退任  
 岩田幸三氏 常任幹事退任  
 山本 猛氏 常任幹事就任  
 山口 滋氏 大阪支部長退任  
 熊倉 寛氏 大阪支部長就任  
 山谷章浩氏 幹事就任

発行者：三菱樹脂OB会事務局  
 (株)ダイヤサービス東京支店内

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町1-2-2 三菱樹脂ビル  
 担当 矢作 憲三 TEL 03-3279-6472 FAX 03-3279-6750

**編集委員**

山本 猛  
 磯田 智  
 佐藤 勇  
 宮下和久  
 柘植 茂

TEL/FAX:03-3977-7564  
 TEL/FAX:0749-65-2281  
 TEL/FAX:03-3756-6264  
 TEL:03-3290-0619 FAX:03-3290-0618  
 TEL/FAX:03-5548-3455

e-mail takeshi-y@dog-email.ne.jp  
 e-mail satoshi.isoda@nifty.com  
 e-mail isamu310@fiberbit.net  
 e-mail kazuhisa14@jcom.home.ne.jp  
 e-mail beetsuge@snow.ocn.ne.jp

OB会ホームページのアドレス

<http://www.mpi-obkai.org/>